




医療機関における参加型職場環境改善活動 作業台の高さ調節		
ガイドラインステップ	キーワード	
1 - 4 12 16	(6つ以内)	・作業姿勢 ・人間工学 ・腰痛 ・参加型職場環境改善活動
改善・取組みの背景と課題	<p>平成 18 年から 20 年 にかけて、メンタルヘルスアクションチェックリストを用いた職場環境改善プログラムに従い、参加型職場環境改善活動を実施した。</p> <p>外来業務の中で、看護師のオーダーリングパソコン画面操作による業務負担が問題点に上がった。</p> <p>外来の特徴 外来患者は 1 日 1000 名前後、年齢は 0 歳から 100 歳以上の超高齢者 20 余りの専門外来を抱え、疾病は多種多様で急性期疾患から慢性不安定症例まで対象とするため、高度な専門性と迅速かつ臨機応変な対応が要求される職場</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>業務分析の結果、業務の量的負担と作業姿勢が問題点として指摘された。多大な業務への迅速・的確な対応の一方で、突発的な外来患者様からの問い合わせにも随時笑顔で対応するという肉体的精神的負担の中で、前屈・中腰・捻りの姿勢が多くなり、慢性的疲労ひいては腰痛や作業ミスを誘発する危険がうかがえた。</p> <p>対策立案に関して 仕事の量調整は、医療を求める患者の要望を断らない病院の理念からは、不可能であった。 作業姿勢の改善が考えられたが、高価な医療機関用規格品購入も困難 作業姿勢による業務負担の軽減化に対し、即効性がある、簡単で安価な解決法が求められた。</p>	
改善・取組みの概要	<p>職場環境改善活動に取り組む中でのグループトークで、問題点として取り上げられ作業姿勢の改善が効果的とのアドバイスを受けた。</p> <p>スタッフの合意をもって、オーダーリングパソコンの台の高さ調節を行った。 (スタッフの身長はさまざまなので、最大公約的にだれもが適応できる高さ) 高さ調節に関しては、高価な医療機関用の特注版を購入するのではなく、市販の安価な部品とボランティアを活用した材料費のみの負担という、安価な改善を行った。</p>	

<p>写真・図表・イラスト</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>改善前</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>改善後</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">立位のため、他業務への移行も円滑となった。</p>			
<p>効果</p>	<p>業務負担の軽減化と効率の改善、および腰痛の訴えの減少が得られた。作業姿勢の変更によって、それまで意識していなかった作業時の疲労感や腰痛の存在に初めて気づいたスタッフもいた。業務改善を話し合う過程で、コミュニケーション力およびチーム力が強化された。改善効果を実感することで、「自分たちの職場は自分たちの力で働きやすく変える。」という意欲が高まった。</p>			
<p>この GPS の経験から学ぶことができるポイント</p>	<p>参加型職場環境改善活動は、現場にとって最大の問題点抽出とその解決に向けての合意をもった解決法考案と立案実施、及び、その結果として現場スタッフの希望をうわまわる改善効果をもたらした。</p> <p>自主性を重んじる参加型職場環境改善活動は、安価で実践的有効な改善策と、討議を重ねる中から生じるチームワーク強化も生み出した。</p> <p>参加型職場環境改善活動は有用である。</p>			
<p>参考資料</p>	<p>[医療機関におけるメンタルヘルス向上のための職場環境チェックリスト] 吉川徹編 労働科学研究小出版部</p>			
<p>投稿者</p>	<p>坂田知子</p>	<p>e-mail</p>	<p>ftoku@csf.ne.jp</p>	<p>2009年12月14日</p>